

## 令和5年度第1回仙台市科学館協議会会議録

日 時 令和5年5月12日（金） 14：30～15：30  
場 所 仙台市科学館2階会議室  
出席委員 磯部裕子委員，河野裕彦委員，佐藤美嶺委員，庄子裕委員，  
高田淑子委員，田中真美委員，長島康雄委員，細野たかし委員，  
松崎雅威委員，松田佳歩委員（計10名）  
事務局 石川館長，田中副館長，高橋庶務係長，千葉主任  
青木主任指導主事，秋山指導主事，宮崎指導主事  
傍 聴 人 無し

### 議事要旨

#### 1 開会

#### 2 館長挨拶

#### 3 職員紹介

#### 4 会長挨拶

- 河野会長が議長となり会議を進行
- 議長より議事録署名人に長島委員を指名

#### 5 報告事項

##### (1) 令和5年度仙台市科学館事業計画について

- 青木主任指導主事から資料1により説明

(質問等)

##### ○河野委員

サイエンス・インタプリタ養成講座は何回か受けている方もいるのか。

##### ○青木主任指導主事

新規の方のみ受けていただいております。今年度は募集を延期した関係で時期を5月から6月に変更し、2名の方を対象に実施予定である。継続の方に関してはインタプリタの交付式で研修会を行っている。

##### ○長島委員

コロナ禍の期間の出品状況はどうであったか。

今年度はコロナ明けで外に出歩く機会が増えていることから、子どもたちの取組状況を比較することは科学館の役割を把握する上で良いと思う。外に出歩くような調査が増えているのか、屋内向けのプログラミングのような取り組みが増えているのかなど。

##### ○青木主任指導主事

コロナ明けの今年度と昨年度までとを比較していきたいと思う。

昨年度とその前を比較すると、出品数について、小学校は同等か若干増えているが中学校は年々減り続けている。個人的には、コロナよりも別の影響が大きいかと思っている。

○庄子委員

理科作品展について、コロナに関係なく毎年減少していて寂しく見える。小学校の出品する側からすると、分野ごとの出品数の枠を工夫していただきたい。枠が限られているため、現状では校内審査で差し戻しをせざるを得ない。また、研究自体の質も気になる。自由研究教室の開催や、小学校の理科研究会で研究のレベルアップを教員向けにアピールするなど取り組んでいただきたい。

○石川館長

頂いた意見をもとに今後の分析に役立てたい。

(2) 夏休み特別展について

○宮崎指導主事から資料2により説明

(質問等)

○松崎委員

特別展のテーマは今後こういった視点で組み立てていくのか。例えば子どもたちのニーズなど。

○宮崎指導主事

去年の様子を見ていると、来館者が低年齢化しており、小学校低学年や未就学児が非常に多い。解説文は子ども用と大人用とを二つ作るなど、子どもが楽しめることは大前提で、大人も一緒に楽しめる展示を心掛けている。特に恐竜と昆虫は非常に人気のあるコンテンツだが、それだけに限らず幅広い分野で検討している。

○松田委員

鳥類は恐竜のルーツを持って現代まで生きながらえている。例えば、環境の変化による変遷の中で、絶滅した動物もいれば、かつての名残をもちつつ変化して生きながらえてきた動物もいることから、そういった環境との関連性や現代にどのように繋がっているのかという部分を説明できると良い。それにより、環境との因果関係を想像し、そこから環境問題にも意識が向くきっかけになるかと思う。

○宮崎指導主事

ドードーの展示を最後に持ってくることで、恐竜からのつながりとともに、ドードーが生育していた環境の変化や生物多様性などを説明し、また八木山動物公園と連携して、八木山動物公園で現在飼育している絶滅危惧種への取り組みや、我々が今後注意していくべきことについてアピールする予定である。

○佐藤委員

八木山動物公園との連携について、八木山動物公園側でもこの企画と連動した展示をするのか。

○宮崎指導主事

展示自体はなく、スタンプラリーの設置をお願いする。普段は八木山動物公園の倉庫に保管されなかなか見る機会のない骨格標本やはく製などを借用し、科学館で展示する。それを見て興味を持った方が八木山動物公園にも足を運んでいただけるとよい。

○佐藤委員

骨格標本やはく製などを見る機会ができることはとても良い。先に八木山動物公園に行った人が、その後科学館に行ってみようと思える仕掛けがあるとよい。

○宮崎指導主事

スタンプラリーを通じて両方に足を運んでいただければと考えている。

○河野委員

八木山動物公園の講演会は、八木山動物公園の職員が科学館に来て行うのか。

○宮崎指導主事

そのとおりである。

○河野委員

講演の際に、八木山動物公園から関連する動物たちの中継などを組み合わせたら、繋がりをもっと身近に感じて面白そうだと思う。

○宮崎指導主事

検討する。

○高田委員

今年は人数制限を実施するのか。

○宮崎指導主事

実施しない。今年は人が滞留しやすい体験スペースが少ないのでそこまで混雑しないと考えている。

○高田委員

学校現場にパソコンがどんどん導入され、子どもたちはAIやChatGPTなどパソコンで何でも完結する状況にある。その中でいかに五感を刺激して体験するかが大事であり、その点で科学館は大きな役割があると思う。仙台市は水族館や天文台など多くの施設があり、小さい頃から五感を通して体験する機会に恵まれた環境である。見る展示だけではなく、触って感じる仕掛けがほしい。

○宮崎指導主事

恐竜の爪や頭部、足の骨の部分など実物の化石に触れるハンズオン展示を多数配置する。例えば恐竜の歯の展示では実際に奥歯に触ることができ、生きた様子を感じ取れるような仕掛けにしている。

○田中委員

混雑状況は例年通り科学館のホームページに掲載するのか。

○宮崎指導主事

掲載する。ピーク時には駐車スペースがあふれる場合もあるので、特に混雑時には一時間ごとに更新をしてお知らせする予定である。

(3) 仙台市科学館展示リニューアルスケジュールについて

○田中副館長から説明

(質問等)

○河野委員

実施設計から削られた展示は将来また検討して導入することはありえるのか。

○石川館長

展示を一部断念したことで、地震が中心の防災コーナーとなるが、それ以外の風水害や土砂崩れといった関連展示についても機会を見て導入していければと考えている。特に小企画展や防災展を通して展示していきたいと考えている。

○田中委員

リニューアル後に入りきれない現在の展示物はどこかに保管しておくのか。

○石川館長

現在ある制作された展示物は原則撤去・廃棄となる。

標本類など再利用するものについては、現在選別しており、そういったものは再展示する。

○河野委員

廃棄するよりも小学校などに寄付してはどうか。

○石川館長

動作させるものについては、慣れている者が定期的にメンテナンスをすることで維持している。譲りたい気持ちはあるが、そのようなメンテナンスがなければ、おそらく1か月程度で動かなくなってしまうと思う。

(4) その他

特になし。

6 事務連絡

次回開催日程については、特別展や理科作品展の報告ができる時期を考えているが、今回と同様にメールで日程調整させていただく。

7 閉会

令和5年6月15日

議事録署名人

仙台市科学館協議会 会長

河野 裕彦

仙台市科学館協議会 委員

長島 康雄